

トマト黄化葉巻病の対策

～通風性防虫ネットの利用で高温対策を行いつつウイルス対策～



トマト黄化葉巻病
タバコナジラミにより媒介されるウイルス病
生長点の萎縮症状を示し、生育が止まる



タバコナジラミ
体長が約0.8mmと微小で様々な植物に寄生可能

総合防除

入れない

・0.4mm目合い防虫ネットの展張
増やさない

・効果の高い薬剤等でタバコナジラミを低密度に管理

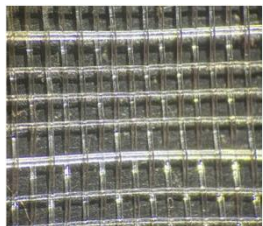
・発病株を早期に発見・除去

出さない

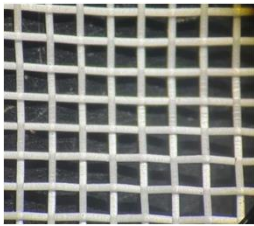
・栽培終了後はハウス密閉処理によりタバコナジラミを駆除

しかし、通常の0.4mm目合い防虫ネットはハウス内が高温化してしまう

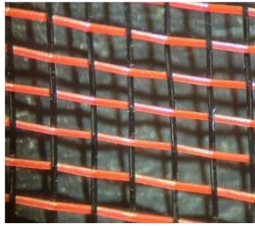
様々な防虫ネットを供試し、タバコナジラミの侵入防止効果や通風性を評価



0.3×0.6mm立体

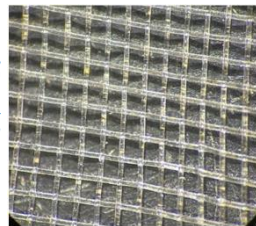


0.6mm反射

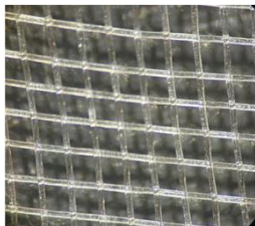


0.8mm赤黒

機能性ネット



0.4mm (通常)



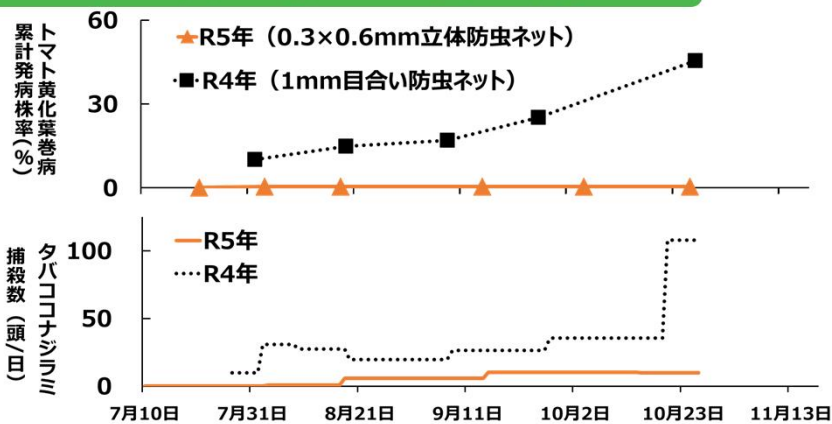
0.6mm

◎	○	△	侵入防止	◎	△
○	○	◎	通風性	△	○

選定したネットを用い、現地圃場で防除効果を実証



R5年に、多発生圃場に選定ネットを展張



黄化葉巻病と媒介虫の発生を抑制！！

結論

暑熱環境を考慮したトマト黄化葉巻病対策として、
「0.3×0.6mm立体防虫ネットの展張」を利用した総合的防除が有効



スライド 1

主桑1 0.4mm目を慣行とするとわかりにくいので、「通常ネット」にしてみました。
0.3×0.6mmを選定したとわかるようにレイアウトを直してみました
桑田 主税, 2025-08-22T07:50:52.845